

21世紀初頭から22年に及ぶ

9.11鎮魂と紛争犠牲者に捧げる芸術祭

2023年（令和5年）9月11日（月）

午後6時開演（開場5時半）～午後8時10分

入場料 2500円 学生1000円（お一人でも多くの方のご参加を）

（会場） 小金井宮地楽器小ホール

JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前

〒184-0004 東京都小金井市本町6-14-45 **TEL 042-380-8077**

〈出演者〉

津村禮次郎 観世流シテ方役者

塩高和之 琵琶奏者

山口亮志 ギター奏者

田澤明子 バイオリン奏者

蔡怜雄 イランの打楽器トンバク、ダフ奏者

中村明日香 多面体表現者

和久内明 日本哲学会会員、脚本家

（主催者） 

【後援】 現代知クラブ （有）HIAS研究所 POSS（市民サークル）



心もとない世界は、今に始まったわけではありません。領土や権力を求めて、小さな争いが、紛争や戦争になった歴史。科学技術が発展し、富の一方への集中と共に、地球規模で、都市、人々の住まう場が破壊され、兵士だけでなく老若男はいたるところで命を落とします。協力、理解、交流を実現し、平和の道を歩くには、今世紀初頭の「9.11同時多発テロ」を始めとする犠牲者たちを私たちの祈りとして、私たちの心の中に沈めていなければなりません。毎年「9.11メモリアル」をこの日本で行うのは、同胞の犠牲者が、世界中に、その声を届けるように、天から呼びかけているように思えてなりません。

(和久内明)

【鎮魂と継承の響き】



三人の名手たちが、心を込めて演奏します。

ギターの山口亮志は、ギリシャで生まれ、アメリカの音楽院修士を出て、世界各地のギター音楽を演奏する稀有な存在となりました。クラシックギターをベースに、セファルディ民謡、タンゴやケルト音楽などを演奏。一方の藝怜雄は、パークリー音楽大学後、ボストンを中心に演奏活動。イランの打楽器を駆使して、私たちに新たな世界を届けてくれます。それぞれの独奏もありますが、負重な合奏もあるそうで、私たちの心を揺さぶってくれることでしょう。田澤明子は、バッハの「無伴奏バイオリンソナタ」を演奏する予定です。桐朋学園大学に在学中、日本音楽コンクールに第2位入賞、内外で数々の賞を受けました。弦楽四重奏団で第一バイオリンを担当し、小澤征爾指揮サイトウキネンオーケストラの海外公演やレコーディングにも参加しています。



【能と音楽芸術の9.11】



能楽堂などで大好評を博した「良寛」の第2部を再演して、能のすこぶる深い世界の広がりを感じていただきます。これは三人舞台で又とないもの。良寛さんは、ほとんどの日本人が知る新潟出雲崎出身の名僧ですが、謎も多く、脚本には現地を歩き回ることも含め、時間をかけました。

良寛には、指定無形文化財の観世流シテ方津村禮次郎、そして琵琶世界の第一人者塩高和之、語りと所作には表現の究極を目指す中村明日香が、観衆を魅了します

「二つの月」(塩高和之作曲)は、琵琶・バイオリン・能舞のトリオの形で新たに登場し、「9.11メモリアル」にふさわしい共演者の音楽芸術に取まっています。



【連絡先】 杉並区下井草2-2-22 ヒルトップ102
和久内明 (090-9342-7562)

寄金のお寄せ先→ 西武信用金庫 阿佐ヶ谷支店
店番006 普通 0142327
有限会社 HIAS 研究所

〈お願い〉

会場費、準備費を始め、手弁当です。多くの方のお支えあってここまで来れました。出演者の足代や演奏費のため、個人は500円、企業等は5000円から寄金をお願いする次第です。もし支えなければ、プログラムにお名前を頂戴できましようか。企業は広告をお載せします。